

世田谷区立下北沢小学校
校長 大字弘一郎様

下北沢小学校学校関係者評価委員会
臼井良雄・手嶌きみ子・豊田慈子
佐野伸恵・清水桂子・中島栄二

令和6年度学校関係者評価委員会報告書

令和6年度のアンケート回答に基づき、学校関係者評価をとりまとめましたので、以下、ご報告します。

◆本報告書の概要

第Ⅰ部：総合所見および重点目標関連の設問についての要旨をまとめ

第Ⅱ部：各アンケートの結果およびコメント

◆アンケート概要

実施時期：令和6年12月

アンケート回収対象：児童(5,6年 280名)、保護者(1~6年及びくるみ学級の保護者 660名)
地域の方々(35名)

下北沢小学校独自項目設問については、児童1~4年にも実施。回収されたデータも学校側よりいただき、分析に加え使用させていただきました。

◆アンケート回収率（学校資料より）

くるみ学級1~6年児童：100%

1~4年児童 : 96.9%

5,6年児童 : 100%

くるみ学級及び1~6年の保護者 : 87.9%

地域の方々 : 57.4%

◆分析方法

評価 A: とても思う + B: 思う = 肯定的回答

C: あまり思わない + D: 思わない = 否定的回答

E: わからない

として、肯定的回答が70%超えた場合はその設問結果を肯定的評価とみなす。さらに80%以上になることを目標とする。回答%の比較表中には、比較のため、昨年のアンケート結果も付記しております。

今回のアンケートは新校になって9回目、北沢小学校も一緒に新設校舎へ移って7年目のアンケートであります。昨年に引き続き、本校が児童と保護者と地域の方々に高い信頼を寄せられていることを強く感じる結果でした。校長を始め先生方への信頼感が高い。学校経営方針なども良く伝わっている。学習指導や生活指導の充実が図られているように感じました。

本年度も、昨年のアンケート設問と同じ設問が設定されましたので、それぞれの設問について前年度との比較をしながらの考察を行うことができました。私たちの住むこの地域で児童たちの成長を担う下北沢小学校の評価は、かなり高いことは感じていますが、評価が高いからこそ一層、児童たちが安心安全に充実した学校生活を送れますよう、今回のアンケートの結果を今後の学校運営にご活用くださいますようお願いいたします。

第Ⅰ部 総合所見および重点目標について

【1】学習指導について

先生方の学習指導への児童の受け取りは非常に肯定的である。特に新たに高学年になった今年の5年生は、教師への評価が高い。ITを活用しながら、相互に発表する場があるようだ。児童たちが切磋琢磨する環境づくりに、先生方が尽力されているように感じた。児童は受け身ではなく授業を工夫して参加しているようだ。保護者の評価も、詳しいことは児童から聞いていないとは伺えるが、まずは高評価であろう。

【2】生活指導について

先生に注意されたことは理解できる児童が5,6年平均で9割を超えるというデータは、下北沢小学校の児童の健全さを表していると思った。児童の先生との信頼関係は築かれていると思う。批判的精神の発達は一般的なことである。受験でストレスのある児童も、競争社会に入り、それに勝ち抜かなければならず、ストレスが多いはず。先生方には児童たちの立場を理解した生活習慣の形成のため、児童との対話を重ねて欲しい。

【3】学校行事について

批判精神も成長し、なにかと忙しい高学年の5,6年生の9割近くの児童が、学校行事を楽しみにしているのは素晴らしい。当校での学校行事はきめ細かく見事に実施され児童の成長に大きな影響を与えていていると思う。達成感があまり得られていない児童も一部いるようだし、学年別にそれぞれの課題などもあり否定的回答も増減があることは当然だと思う。彼らの立場を理解したフォローが、先生から何気なく与えてくださいたい。

【4】キャリア教育について

小学校の段階で、自分が将来どんな人間になりたいか、そのためのキャリアを考えるのはかなり難しいのではないかと感ずる。が、学校の積極的な取り組みにより、将来について自覚を持つ児童が8割以上いるのは素晴らしい。将来の目標を持ち始めている児童が多いことから、私立中学へも関心が高まるようだ。結果、区立中学への関心が相対的に低くなるのかもしれない。

【5】教職員について

小学校での相談はまず友達、次に保護者、その次に先生ではないだろうか？今年の5年生の「先生たちに相談できる」についての肯定的回答が8割にあと一歩と迫ったことは素晴らしいと思う。「手のかからない児童」にも「一言の言葉がけ」を心掛け、児童の気持ちを聞いていただきたいものだ。そんな中、9割以上の児童が「ていねいに指導」してくれると思い、7割前後の児童が「相談できる」と感じているのは立派、評価できる。

【6】学校全般について

先生方とは良好な関係が築かれているようだ。「学校生活は楽しい」に対する肯定的回答が1年、2年、3年とも8割後半という数字を見ると、本校が受容的な空気に包まれ、楽しい雰囲気で運営されていることが分かる。

「学校が好きである」に対する肯定的回答も同じ傾向を示しており、本校が楽しく児童に好かれている存在であることが分かる。高学年になると、内省的精神も目覚め、塾通いなどで余裕も取れずストレスが高まり否定的回答が少し出てくるものの、今の社会で競争を否定することはできない。学校としては、順応が難しい児童の精神的アシストも心がけなくてはいけなくなっている時代を感じた。

【7】 本年度下北沢小学校重点目標について

重点目標「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子どもの育成、短くして『自分のよさの実感』」について。学校で多くの友達や先生と関わって、「自分の良さをの実感」を感じることは、以前から難しい目標だったが、年々目標値に近づいている。本年の5年生は8割に迫る肯定的回答を示した。6年生はやや微減しているのが気になった。

「自分の良さを見つける」ことは、内省的な児童にはなかなか難しいと思うが、継続的指導の効果が現れていると思われる。

重点目標「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成 短くして『できる・わかる』」については、例年否定的回答が多かったが、今年は昨年より大幅に肯定的回答が増え、目標の8割に近づいている。年代的に見れば児童1年生から4年生の肯定的回答の平均値が約7割、それが5,6年生で約8割へと近づいており、長年本目標を掲げ、教育してきた成果だと思う。

重点目標「自分の身体づくりに関心をもち、進んで運動する子どもの育成」については、一昨年までは肯定的回答が60%台で低迷してきた。が、本年は5年生、6年生とも7割を超える上昇傾向である。重点目標を力を入れた成果が見えてきていると考える。

【8】 特色ある教育活動について

「自分の考えを言う」ということは、意外と難しいもの。本校の児童は、友人に「自分の意見も言える」とし、「相手の意見も聞くことができる」という良好な関係性を作りあげている。

また、以前から続く「なかよし班活動」は、1年生から4年生の9割以上が楽しみにしており、5,6年生が頼もしく優しいお兄さん、お姉さんになっていることが分かる。そして上級生は5年生、6年生とその責任感を高めている。少子化時代の今、これは素晴らしい人間教育だと思う。

【9】 学校と家庭のつながりについて

本校の児童の挨拶はとても立派。登校時の見守りの方にも挨拶をしていく児童が多い。朝ご飯を食べてこないという児童は、クラスで若干名いる。

【10】 学校運営について

保護者・地域の方々も、学校の重点目標を認識している。校長をはじめ、教職員への評価は年々向上し、今回は8割が肯定的回答を示している。

【11】 学校からの情報提供について

学校からの保護者、地域への情報提供は、お知らせ、メール、ホームページ等の活用でよくなされている。ただし『学び舎』の区立幼稚園や中学校については、情報は届いているものの関心が低いようだ。

【12】 地域との連携について

地域への情報提供は手紙、メール、学校公開、行事への参加などで行われ、学校と地域の関係は良い。地域の人々もPTAと連携し、学校の活動を支えている。おやじの会、同窓会などの地域の学校関係組織との関係が密接であり、お互いに助け合っている。学校は会議室、体育館、校庭、スポーツ活動、イベントに提供するなど、地域に便宜を図っている。しかし、「学校運営委員会」など、選ばれた地域の方々が運営する活動は、関係者以外の地域住民や保護者にはあまり知られていない。

【13】学校の安全性について

保護者の肯定的回答は86%、地域の肯定的回答は100%となっており、学校の安全に対する意識や具体的な施策が認知され、安心して児童を通わせられる学校と信頼されていることが分かる。

【14】学校全般について

保護者および地域の方々は、下北沢小学校の教育について満足しており評価は年々上がっている。

一方で、地域の方々の「児童は交通ルールを守っているか」の設問に対する評価が、昨年より1割ほど下回っているのが気がかりである。下校時大勢で楽しそうに道幅いっぱい歩いてくる児童を散見することが多い。近年、登下校時に大きな交通事故は発生していないとのことだが、児童の安全を守るために地域や家庭が積極的に声掛けを行うことが重要である。また、大人自身も日頃から交通ルールを意識し、児童の手本となる行動を心がける必要がある。

第Ⅱ部 設問別 詳細分析と考察

【1】学習(学習指導)について

(0)本年からは新しく「学ぶことが楽しい」という基本的な設問が導入された。

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均
A+B	89	74	82
C+D	8	24	16

コメント：学ぶことが楽しいか楽しくないか、児童の気持ちをストレートに聞いた設問である。それが5,6年生の肯定的回答が平均で82%とは！特に5年生の示した89%は、殆どの児童が自分の学力や成績に関係なく「楽しい」と感じているわけで、素晴らしい結果だと感じた。

(1)児童5,6年に「先生は、課題(めあて)について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を作業の中でとっている」。保護者には「本校は、児童が考えることや、課題を解決することを大切にした授業を行っている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	94	92	92	93	93	92	82	85
C+D	5	8	5	6	7	6	6	6

コメント：昨年に続いて5,6年生児童の肯定的回答が90%を超えた。児童のほとんどが、授業中、先生は、「自分で考えたり、友だちと考えたりする時間」を取ってくれていると認識しているようだ。保護者も82%の方が肯定的回答、を示している。

(2)児童5,6年に「先生は黒板の書き方やプリントなどを工夫している」。

保護者には「本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	92	86	81	87	87	87	68	74
C+D	5	6	16	9	10	8	9	11

コメント：児童の肯定的回答がすべて80%を超えるのは、児童が先生方の工夫を感じ取っているからだろう。特に今年の5年生の肯定的回答は92%と昨年の5年生より高くなっている。

最近の授業ではプリントよりタブレットを使っての授業が多くなり、5年生児童は特に馴染んでいると聞く。

(3)児童5,6年に「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」。

保護者には「本校は、子どもが考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	99	92	96	98	97	95	84	86
C+D	1	6	4	1	2	3	5	5

コメント：例年、本校では本設問への肯定的回答が高いが、本年は5年生で99%、6年生で96%を示した。この設問への「分からぬ」がゼロであるのも凄い。保護者の肯定的回答も84%と高く、『分からぬ』と回答した保護者が10%前後なのは、授業参観などで本校の『話し合い活動』が活発に行われていることが分かる。」

(4)児童5,6年に「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」。

保護者には「本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	98	89	87	90	93	90	76	79
C+D	1	7	12	7	6	7	10	9

コメント：5年生児童の肯定的回答が98%ととても高い。タブレットには「ロイロノート」という授業を支援するクラウドサービスが導入され、今年の5年生はそれを使いこなしているようだ。6年生も87%と高い。最近の先生方はIT能力が求められ、大変だろう。平均93%の児童が映像やタブレットを使った授業について、分かりやすいと認識しているようだ。

【2】生活指導について

(1)児童5,6年に「私は、学校のきまりを守って行動している」。

保護者には「本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	90	83	87	89	89	87	78	79
C+D	9	11	11	8	10	9	9	10

コメント：今年の5年生の肯定的回答が高い。昨年5年生の時に肯定的回答が83%を示していた今年の6年生も、87%と肯定的回答をあげている。保護者の肯定的回答も昨年同様80%弱で高い。5,6年生の「私は、学校のきまりを守って行動している」平均肯定的回答が89%もあるのは素晴らしい。

(2)児童5,6年に「学校のきまりを守らない児童に先生は注意をしている」。

保護者には「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	92	83	80	87	86	85	80	85
C+D	4	12	13	10	9	11	11	10

コメント：今年5年生の肯定的回答が92%と高い。一方今年の6年生は肯定的回答が昨年5年生時の83%から80%へやや減少し、否定的回答が13%と増えている。昨年と似た傾向だ。批判精神が生まれ、反抗期に入り、受験などを控える6年生にとって、難しい時期なのかもしれない。

(3)児童5,6年に「私は、先生に注意されたことは理解できる」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	95	89	86	90	91	89
C+D	3	5	13	5	8	5

コメント：注意されたことが理解できる児童の肯定的回答が年々向上している。今年は5年生で95%、6年生で86%を示している。否定的回答は5年生で3%、6年生で13%あり、前の設問と同様に、この時期の批判的精神の発達を感じる。分からないと答える児童の%が低いのもはつきりしていて良い。

【3】学校行事について

(1)児童5,6年に「学校行事は、楽しい」。昨年は「わたしは楽しみにしている学校行事がある」。
保護者には「学校行事は、子どもにとって楽しい」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	95	90	91	88	93	89	97	98
C+D	5	9	8	8	7	8	2	1

コメント：児童の肯定的回答は5年生95%、6年生91%と高い。本校は勉学の中で学芸会や運動会などの行事を大事な教育場面と位置づけ、保護者や地域にも公開している。児童全員で真剣に取り組み、何らかの役を演じ大きな拍手をもらい達成感を感じているようだ。保護者もそれに賛同し楽しみにしているようだ。

(2)児童5,6年に「学校行事は、達成感がある」。

保護者には「学校行事は、子どもにとって達成感がある」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	87	84	88	81	88	83	96	95
C+D	10	12	11	16	11	14	4	4

コメント：上級生児童の感ずる達成感はかなり高く例年5年、6年と高くなっているが、今年の5年生は87%の肯定的回答を示し6年生の88%に並んだ。保護者も評価し楽しんでいるようだ。

しかし約1割の5,6年生は否定的回答を示している。稽古や準備に多くの時間をとられ、塾通いなど忙しい5,6年生は12月に実施されたアンケートに否定的回答を選んだのかもしれない。

(3)児童5,6年に「先生は、児童の意欲を大切にしている」。

保護者には「本校は、子どもの意欲を大切にしている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	94	84	85	83	89	84	91	91
C+D	5	9	12	11	8	10	4	4

コメント：設問が難しい。先生方は授業で「意欲を持て」と日々教えているのだろうか？しかし今年5年生の肯定的回答が94%もあるのは素晴らしい。6年生も85%の肯定的回答であるが、否定的回答が12%ある。

【4】キャリア教育について

(1)児童5,6年に「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」。

保護者には「本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	71	74	73	81	72	77	59	63
C+D	22	18	23	16	23	17	17	15

コメント：児童にとっては難しい設問だろう。授業を児童は単に勉強をしていると思い、生き方や将来を考えるほど深くは受け取らない児童が多いのではないだろうか。

否定的回答をはっきり示す5年生も6年生も数人いて批判精神の成長を感じさせ、きちんとした意思を示せるようになったと感ずる。

(2) 児童5,6年に「目標をもち、その実現に向けて努力している」。

保護者には「自分の生き方や将来のことについて、考える授業をしている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	87	84	81	88	84	87	49	49
C+D	11	7	15	8	13	8	17	21

コメント：これも小学生には難しい設問だと思う。しかし先生が意識付けを授業でおこなっているのか、今年は児童5年で87%、6年で81%の肯定的回答を示している。このような次元の高い内容を問われ、80%以上の児童が目標の実現に向けて努力していると答えているのは、素晴らしいことだ。当校では重点目標を設定し、児童に日々それを意識させていることが、それがこの理由かもしれない。

一方、保護者は、学校公開における授業で、そのような内容の場面に出会わなかつたのではないか。分からぬという回答が34%もあるのは、当然なのかもしれない。

(3) 児童5,6年に「区立中学校に関する情報が提供されている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	40	55	66	53	53	54
C+D	33	21	19	26	26	24

コメント：児童の関心は高くないようだ。「区立中学には行こうと思えば行ける」「将来を考えて、私立中学に行きたい」といった考えから、区立中学への関心が相対的に薄れているのかもしれない。

【5】教職員について

(1) 児童5,6年に「先生たちは、ていねいに指導してくれる」。

保護者には「本校は、ていねいに指導している」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	99	91	93	91	96	91	87	90
C+D	1	6	5	7	3	6	7	6

コメント：5年生99%、6年生93%の肯定的回答は過去最高だ。先生たちの指導については高評価である。

(2) 児童5,6年に「先生たちに相談できる」。

保護者には「本校は、子どものことを相談しやすい」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	79	78	69	74	74	76	79	80
C+D	16	17	29	20	23	19	14	14

コメント：過去、児童の本設問への肯定的回答は高くはないが、ここ数年上昇しており今年度の5年生の肯定的回答が79%と80%に近づいたのが嬉しい。いろいろストレスの多い6年生は肯定的回答がまだ69%と低い。保護者は肯定的回答が80%前後で、まずまず満足しているようだ。

【6】学校全般について

(1) 5,6年生へ「学校生活は楽しい」。1~4年生には「毎日の学校生活がたのしい」。

上段に本年の結果、下段に前年の結果を表にした。

回答%	令和6年 児童1年	令和6年 児童2年	令和6年 児童3年	令和6年 児童4年	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和6年 児童1~4年 全体	令和6年 5年6年 全体
A+B	86	89	86	86	94	86	87	90
C+D	6	9	12	12	6	14	11	10

回答%	令和5年 児童1年	令和5年 児童2年	令和5年 児童3年	令和5年 児童4年	令和5年 児童5年	令和5年 児童6年	令和5年 児童1~4年 全体	令和5年 5年6年 全体
A+B	91	84	81	94	83	85	88	84
C+D	4	12	15	4	14	11	9	12

コメント：1年生から6年生まで、毎年行われる本設問は貴重である。今年も1年生から6年生までの「学校生活は楽しい」という肯定的回答がすべて80%を超えた。

(2)児童5,6年へは「学校が好き」。児童1~4年には「下北沢小学校が好きである」。

上段に本年の結果、下段に前年の結果を表にした。

回答%	令和6年 児童1年	令和6年 児童2年	令和6年 児童3年	令和6年 児童4年	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和6年 児童1~4年 全体	令和6年 5年6年 全体
A+B	87	89	88	85	84	77	87	81
C+D	6	7	8	10	11	20	8	16

回答%	令和5年 児童1年	令和5年 児童2年	令和5年 児童3年	令和5年 児童4年	令和5年 児童5年	令和5年 児童6年	令和5年 児童1~4年 全体	令和5年 5年6年 全体
A+B	91	90	85	95	76	77	90	77
C+D	4	7	9	4	17	18	6	12

コメント：「学校が好き」という基本的な設問に対して例年当校では肯定的回答が高いが、上級生、特に忙しくストレスも増す6年生になるとやや下がってくる傾向がある。

(3)児童5年6年にのみ「私は家庭で宿題やeラーニングでの学習をしている」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年
A+B	75	77	71	72	73	74
C+D	16	15	24	21	20	18

コメント：昨年と同様家庭での自己学習は肯定的回答が70%台でまずまずの数字だと思う。

(4) 児童5,6年には「私は、塾で学習している」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 5,6年 平均	令和5年 5,6年 平均
A+B	64	65	65	72	65	70
C+D	31	32	32	21	31	28

コメント：当校では5年、6年生で65%の児童が塾へ行っているのが現実。驚きの数字だ。人生設計を各自描いて選択しているのだろう。

(5) 5年と6年児童へのみ「学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会がある」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	32	22	34	36	33	30
C+D	44	29	51	48	47	40

コメント：例年本設問には否定的回答が多く、肯定的回答を上回っている。児童の教育方法として小中一貫の理念は分かるが、現実その対象者は児童の半分くらいの時代になり、逆に中高一貫教育の受験校に行く生徒が増えてきており、現実的には区立中学へ進学していく児童へのフォローの方が大切になると思う。

【7】重点目標について

これについては5,6年対象の「重点目標について」の3問以外に1~4年までを対象に「学校で大切にしていることについて」の中でも同様の内容を聞いているので同時比較をする。

(1) 重点目標 「かかわり合う活動の充実による自分づくりのできる子どもの育成 短くして『自分のよさの実感』」

この達成度メジャーとして、学校は、5,6年児童向け設問「わたしは学校生活のなかで、自分のよさを見つけられた」の肯定的回答を昨年以上にする事を目標にしている。なお児童1~4年には、「学校生活で自分のよいところをみつけられた」が設問されている。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4年 平均	令和5年 児童1~4年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	78	77	74	81	72	71	76	79
C+D	17	12	19	11	16	18	18	11

コメント：学校の中で多くの友達や先生と関わって自己肯定感である「自分の良さの実感」を感じることは以前から難しい目標だったが年々向上しており、本年の5年生の肯定的回答は78%と80%に迫る肯定的回答を示した。学校全体を見ても1年生から4年生の低学年児童の平均肯定的回答が72%、5,6年生平均での肯定的回答が76%もあるのは目標の80%に迫りつつあると言えるだろう。

(2) 重点目標「学習内容がわかり、できると実感し、論理的に考え、表現する子どもの育成。短くして『できる・わかる』」

児童5,6年には「わたしは学習において考えたことを友達や先生に伝えることができた」。

なお1~4年には「学校では自分の考えを言うことができた」が設問されている。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4年 平均	令和5年 児童1~4年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	84	76	79	86	76	72	81	82
C+D	15	17	18	10	23	23	16	13

コメント：本設問は例年肯定的回答がばらつくが、今年は肯定的回答が増え5年生で84%、6年生で79%と目標の80%に近づいている。

(3) 重点目標「自分の身体づくりに关心をもち、進んで運動する子どもの育成」

児童5,6年には「わたしは、健康に关心を持ち、進んで運動している」。この達成度メジャーとして今年は、学校は肯定的回答の昨年以上を目標としている。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均
A+B	74	80	74	75	74	77
C+D	24	17	24	22	24	20

コメント：本目標は以前は肯定的回答が低迷したが、昨年からは向上しており、本年も肯定的回答が6年生、5年生とも74%と上がってきている。今後に期待したい。

【8】特色ある教育活動について

(1) 児童5,6年には「わたしは前より運動ができるようになった」。

保護者には「子どもは今までより運動ができるようになった」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	82	79	74	76	78	77	57	52
C+D	15	15	21	19	18	17	36	43

コメント：本設問には例年肯定的回答が伸び悩むが、本年の5年生は肯定的回答が82%と80%を超えた。しかし5年生で15%、6年生で21%の否定的回答を答えた児童が存在することには留意しなければならないと思う。

(2) 児童5,6年には「わたしは学校生活の中で、友達に自分の考えを伝えることができる」。

児童1~4年には「学校では自分の考えを言うことができた」。

保護者には「子どもは学校生活の中で友達に自分の考えを伝えているようである」。

回答%	令和6年 児童5年	令和5年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4年 平均	令和5年 児童1~4年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	91	83	85	90	71	72	88	87	74	75
C+D	9	13	12	7	23	23	10	10	15	16

コメント：重点目標7-(2)と類似するが、これは先生ではなくて友人に自分の考えを伝えられるかを聞いている。肯定的回答が5年生が91%、6年生が85%と昨年と比べて上昇しており、友人には自分の考えを

伝える力に自信を持ち始めているのが分かる。1年生から4年生はまだもうひとつ自信を持ってていないのか、肯定的回答がまだ70%半ばではある。上級生になれば伸びていくと思う。

(3)児童5,6年には「わたしは学校生活の中で、友達の考えを聞くことができる」。

児童1~4年には「学校では友達の考えをよく聞くことができた」。

保護者には「子どもは学校生活の中で、友達の考えを聞いているようである」。

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童5年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4年 平均	令和5年 児童1~4年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	95	97	91	91	83	86	96	91	83	84
C+D	4	3	6	6	10	8	4	6	7	8

コメント：聞く力の自覚を問う設問。肯定的回答が5年生が95%を示し6年生も97%を示す。1年から4年の平均値でも肯定的回答は86%もあり、本校の児童の「聞く力」は向上していることが窺われる。保護者もそれを感じているようだ。

(4)児童5,6年には「なかよし班活動では、下学年を楽しませている」。

児童1~4年には「なかよし班の活動は楽しい」。

保護者には「子どもはなかよし班活動遊びを楽しみにしているようである」。

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童5年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4年 平均	令和5年 児童1~4年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	79	84	71	89	88	92	82	81	74	77
C+D	11	9	12	7	8	7	10	9	11	12

コメント：なかよし班活動は1年生から4年生の児童には肯定的回答88%と楽しい。5,6年生も肯定的回答は平均で82%と自信を持っているようだ。上級生と下級生の関係がよいことは素晴らしいことだ。

(5)児童5,6年には「なかよし班活動では、自分の役割に責任をもって活動している」。

児童1~4年には「なかよし班でみんなで協力することができた」。

保護者には「子どもはなかよし班活動において、自分の役割に責任をもって活動しているようである」。

回答%	令和6年 児童5年	令和6年 児童6年	令和5年 児童5年	令和5年 児童6年	令和6年 児童1~4 年 平均	令和5年 児童1~4 年 平均	令和6年 児童5,6年 平均	令和5年 児童5,6年 平均	令和6年 保護者	令和5年 保護者
A+B	88	91	83	93	85	87	90	89	63	63
C+D	8	5	10	2	10	8	6	5	9	11

コメント：なかよし班活動は従来から1年から4年までの低学年児童には肯定的に受け止められ、その肯定的回答が高かった。本年も1~4年の児童の肯定的回答は85%と高い。指導的な役割を負う5年、6年の児童も上級生になるほど責任を感じて活動しているようで肯定的回答が5年から6年になると増えて90%を超える傾向が見える。

【9】学校と家庭のつながりについて

(1)児童 5, 6 年には「わたしは知っている人にはあいさつしている」。

児童 1~4 年には「知っている人にはあいさつをしている」。

保護者には「子どもは家庭の中であいさつしている」。

回答%	令和 6 年 児童 5 年	令和 6 年 児童 6 年	令和 5 年 児童 5 年	令和 5 年 児童 6 年	令和 6 年 児童 1~4 年 平均	令和 5 年 児童 1~4 年 平均	令和 6 年 児童 5, 6 年 平均	令和 5 年 児童 5, 6 年 平均	令和 6 年 保護者	令和 5 年 保護者
A+B	91	88	94	92	81	85	90	93	89	88
C+D	7	11	5	4	14	11	9	5	10	12

コメント：あいさつについては下北沢小学校の「四つの柱」の一つでもあり、本校では以前から肯定的回答が 90% 前後になる。保護者も肯定的回答 89% と高く評価している。

(2)児童に「わたしは朝ご飯を食べてきてている」。

保護者には「子どもは朝ご飯を食べて登校している」。

回答%	令和 6 年 児童 5 年	令和 6 年 児童 6 年	令和 5 年 児童 5 年	令和 5 年 児童 6 年	令和 6 年 児童 1~4 年 平均	令和 5 年 児童 1~4 年 平均	令和 6 年 児童 5, 6 年 平均	令和 5 年 児童 5, 6 年 平均	令和 6 年 保護者	令和 5 年 保護者
A+B	95	94	91	90	92	97	95	91	97	97
C+D	4	6	9	9	7	3	5	9	3	3

コメント：ほとんどの児童は朝ご飯を食べてきてている。保護者の回答も否定的回答は数%である。児童の回答で、クラスに一人か二人くらい朝ご飯を食べてこない児童がいると思える。

【10】学校運営について

(1)保護者には「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」。

地域の方には「学校の重点目標が明確である」。

回答	1~6 年保護者		地域の方	
	令和 6 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 5 年
肯定的回答% (A+B)	79	78	89	97
否定的回答% (C+D)	9	10	11	0
わからない% (E)	12	12	0	3

コメント：保護者およびアンケートに答えた地域の方々は、学校の重点目標は概ね理解していることが分かる肯定的回答である。

(2)保護者には「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」。

地域の方には「地域の意見に対して、学校はていねいに説明対応している」。

回答	1~6 年保護者		地域の方	
	令和 6 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 5 年
肯定的回答% (A+B)	91	90	77	83
否定的回答% (C+D)	3	2	9	3
わからない% (E)	6	8	14	14

コメント：保護者の本設問への否定的回答は少なく、高い肯定的回答が示されている。

校長、教職員への評価は高く、年々向上している。地域の方々には「分からぬ」と答えた方は多いが、否定的回答は少ない。

【11】学校からの情報提供について

(1)保護者には「本校は、さまざまな便りなどで、保護者に情報を提供している」。

地域は「学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子が分かる」。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	92	92	94	97
否定的回答% (C+D)	6	6	6	3
わからない% (E)	2	2	0	0

コメント：学校からの情報提供については保護者、回答した地域の方々の肯定的回答が90%台で高い評価である。

(2)保護者には「『学び舎』の区立(幼稚園)中学校について情報が提供されている」。

「地域の方には『学び舎』の活動について、情報が提供されている」。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	48	46	60	73
否定的回答% (C+D)	25	30	29	10
わからない% (E)	27	24	11	17

コメント：『学び舎』の情報は学校が配布する資料には載せられているが、本設問への肯定的回答は保護者では低い。保護者の方は『学び舎』にはあまり関心がないようだ。

(3)保護者には「学校公開や保護者会をとおして、学校の様子がよくわかる」。地域の方には「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよく分かる」。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	92	93	83	83
否定的回答% (C+D)	5	5	9	7
わからない% (E)	3	2	8	10

コメント：保護者の肯定的回答が90%と非常に高い。回答した地域の方々は高齢者が多い割には、ホームページなどのIT関連機器を利用している。

(4)保護者には「本校は、ホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している」。

地域の方には「学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子がわかる情報が掲載されている」。地域の方には学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子がよくわかる。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	91	91	86	83
否定的回答% (C+D)	6	5	6	3
わからない% (E)	3	4	8	14

コメント：保護者にはITを使った情報が届いていることがわかる90%という肯定的回答である。流石IT先進校と言われる下北沢小学校だが、受け取る父兄のIT受容性も高い。回答されている地域の方々は高齢の方も多く、その割には高い肯定的回答ではないだろうか。

【12】地域との連携について

(1)保護者には「本校は、地域の人材や施設を教育活動にいかしている」。

地域の方には「地域の人材や施設を教育活動に活かしている」。いずれも昨年とほぼ同じ設問。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	70	68	89	70
否定的回答% (C+D)	8	10	6	23
わからない% (E)	22	22	5	7

コメント：地域では昨年に比べ肯定的回答が増加し肯定的回答が90%に迫っている。

(2)保護者には「本校は、地域の活動や行事に協力的である」。地域の方には「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている」。いずれも今年新しい設問である。

回答	1~6年保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	66	66	57	33
否定的回答% (C+D)	8	8	17	27
わからない% (E)	26	26	26	40

コメント：「分からない」という回答が20%台存在するが肯定的回答が60%前後なのは評価できる。

(3)保護者の方のみに「本校は地域に情報を提供している」。

回答	1~6年保護者		1~6年保護者	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	57		56	
否定的回答% (C+D)	9		9	
わからない% (E)	34		35	

コメント：現在学校通信は保護者や地域の関係者に定期的にメールで来ており、57%という肯定的回答はまずまずではないか。

(4)地域の方に「学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている」。

回答	地域の方	
	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	63	43
否定的回答% (C+D)	14	20
わからない% (E)	23	37

コメント：昨年度は40%台だった肯定的回答が本年は63%に上がった。

【13】学校の安全性について

(1)保護者には「本校は、安全な学校づくりを進めている」。

地域の方には「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」。

回答	保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	86	84	100	97
否定的回答% (C+D)	7	10	0	3
わからない% (E)	7	6	0	0

コメント：保護者の80%以上が肯定的に評価している。地域の方は100%が肯定的回答を示し安全については高い評価だ。

(2)保護者には「本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている」。地域の方には「学校は、安全性を高めようと地域と協力している」。

回答	保護者		地域の方	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
肯定的回答% (A+B)	92	95	87	90
否定的回答% (C+D)	4	2	4	7
わからない% (E)	4	3	9	3

コメント：保護者の方々は安全推進運動が児童にどのように行われているのか90%以上が評価している。地域の方々も87%と評価が高い。

【14】学校全般について

(1)保護者へのみ「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい」。

回答	令和6年	令和5年
	1~6年保護者	1~6年保護者
肯定的回答% (A+B)	89	91
否定的回答% (C+D)	8	7
わからない% (E)	3	2

コメント：保護者は90%近くが学校生活が児童には楽しいと感じている。

(2)保護者へのみ「子どもは、家庭で自主的に学習をしている」。

回答	令和6年	令和5年
	1~6年保護者	1~6年保護者
肯定的回答% (A+B)	56	60
否定的回答% (C+D)	43	39
わからない% (E)	1	1

コメント：児童が家庭で自主的に学習していると認識している保護者は56%と半数を超えており、分からないと答えた保護者は1%とほとんどいないのは素晴らしいことだ。

(3)保護者へのみ「本校は、近隣の(幼)・小・中学校で構成する「学び舎」による幼稚園・小学校・中学校の連携や交流活動が行われている」。

回答	令和6年	令和5年
	1~6年保護者	1~6年保護者
肯定的回答% (A+B)	43	45
否定的回答% (C+D)	20	25
わからない% (E)	37	30

コメント：「学び舎」の連携や交流活動に関する認知は、横ばいの印象である。

(4)保護者へのみ「本校の教育活動に満足している」。

回答	令和6年	令和5年
	1~6年保護者	1~6年保護者
肯定的回答% (A+B)	84	86
否定的回答% (C+D)	10	10
わからない% (E)	6	4

コメント：保護者は本校の教育活動に満足している。

(5)保護者へのみ「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」。

回答	令和6年	令和5年
	1~6年保護者	1~6年保護者
肯定的回答% (A+B)	76	74
否定的回答% (C+D)	18	20
わからない% (E)	6	6

コメント：保護者は「児童が体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」ことに76%が肯定的回答を示しており、昨年より2%の向上も見られた。

(6) 地域の方々へののみの設問

設問	A+B %		C+D %	
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
通学している児童たちは、交通ルールなどを守っている。	77	87	20	10
学校行事の内容は充実している。	92	97	8	0
事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。	83	80	6	7

コメント：例年肯定的回答が高い本設問が77%と80%を切ったのは何故だろうか。見守りたい。下校時の楽しそうに大勢で道いっぱいに広がって歩いている児童の姿を見ると微笑ましいが、ドライバーや地域の方にとって「交通ルールを守ってほしい」と思う人も多いだろう。

【15】小学校独自アンケート（1年生から4年生およびくるみ学級対象）

下北沢小学校は独自に1年生から4年生全員とするみ学級児童に下記1~12のアンケートを実施している。児童の成長を計る貴重なデータと思うので添付する。回答%の太字は令和6年度データ、細字は前年令和5年度データ。

1. 学校生活で自分の良いところをみつけられた。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	63	66	19	17	18	17
2年生	72	67	12	17	16	16
3年生	80	70	15	24	5	6
4年生	71	81	19	13	10	6
1年~4年平均	71	71	16	18	13	11
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：1年生から成長とともに肯定的回答が増加する。くるみ学級の肯定的回答が100%とは嬉しい。

2. 勉強でわかることやできることが増えた。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	84	81	7	13	9	6
2年生	86	91	9	8	5	1
3年生	93	86	5	13	2	1
4年生	83	96	16	2	1	2
1年~4年平均	87	89	9	9	4	2
くるみ学級	88	100	12	0	0	0

コメント：低学年から肯定的回答が多い。

3. 友達から言われたことで、嬉しくなったことがあった。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	69	73	14	16	17	11
2年生	74	80	17	14	9	6
3年生	88	82	6	15	6	3
4年生	82	91	16	8	2	1
1年~4年平均	78	82	13	13	9	5
くるみ学級	88	100	0	0	12	0

コメント：学年が上がるにつれて肯定的回答が増えしていく。

4. 自分から進んで体を動かして遊んだり、運動したりした。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からない (E%)	
1年生	74	84	19	9	7	7
2年生	79	77	14	15	7	8
3年生	75	79	22	17	3	4
4年生	73	75	25	20	2	5
1年～4年平均	75	79	20	15	5	6
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：学年差がないようだ。

5. 学校では自分の考えを言うことができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からない (E%)	
1年生	64	68	22	21	14	11
2年生	74	81	19	15	7	4
3年生	76	68	20	31	4	1
4年生	69	71	30	25	1	4
1年～4年平均	71	72	23	23	6	5
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：2年生から 徐々に学年に応じて肯定的回答が増える。

6. 学校では、友達の話をよく聞くことができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からない (E%)	
1年生	74	82	16	7	10	11
2年生	87	89	6	7	7	4
3年生	83	82	10	14	7	4
4年生	89	92	7	4	4	4
1年～4年平均	83	86	10	8	7	6
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：2年生から あまり肯定的回答に変化がない。

7. なかよし班の活動は楽しい

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からない (E%)	
1年生	91	88	3	8	6	4
2年生	86	97	10	3	4	0
3年生	92	87	8	11	0	2
4年生	86	94	10	5	4	1
1年～4年平均	88	92	8	7	4	1
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：1年生には新鮮で楽しい経験なのがわかる。

8. なかよし班でみんなで協力することができた。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からない (E%)	
1年生	81	83	12	8	7	9
2年生	85	88	8	8	7	4
3年生	86	86	10	9	4	5
4年生	86	91	10	8	4	1
1年～4年平均	85	87	10	8	5	5
くるみ学級	88	100	12	0	0	0

コメント：各学年肯定的回答を示している。

9. 毎日の学校生活が楽しい。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	86	91	9	4	5	5
2年生	89	84	9	12	2	4
3年生	86	81	12	15	2	4
4年生	86	94	12	4	2	2
1年～4年平均	87	88	11	9	2	3
くるみ学級	100		0		0	

コメント：各学年とも、肯定的回答が多勢。

10. 下北沢小学校が好きである。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	87	91	6	4	7	5
2年生	89	90	7	7	4	3
3年生	88	85	8	9	4	6
4年生	85	95	10	4	5	1
1年～4年平均	87	90	8	6	5	4
くるみ学級	88	100	12	0	0	0

コメント：低学年の肯定的回答は高い。

11. 知っている人には挨拶している。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	68	78	22	11	10	11
2年生	85	86	11	11	4	3
3年生	83	83	13	15	4	2
4年生	87	94	10	5	3	1
1年～4年平均	81	85	14	11	5	4
くるみ学級	88	100	12	0	0	0

コメント：2年生から急に肯定的回答が上がる。1年生のときに、知っている人には挨拶する習慣が身についたのであろう。

12. 朝ご飯を食べてきている。

学年	肯定的回答 (A+B) %		否定的回答 (C+D) %		分からぬ (E%)	
1年生	92	95	7	3	1	2
2年生	93	95	6	4	1	1
3年生	89	99	10	1	1	0
4年生	94	98	5	2	1	0
1年～4年平均	92	97	7	3	1	0
くるみ学級	100	100	0	0	0	0

コメント：学年差は見られない。

以上